Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

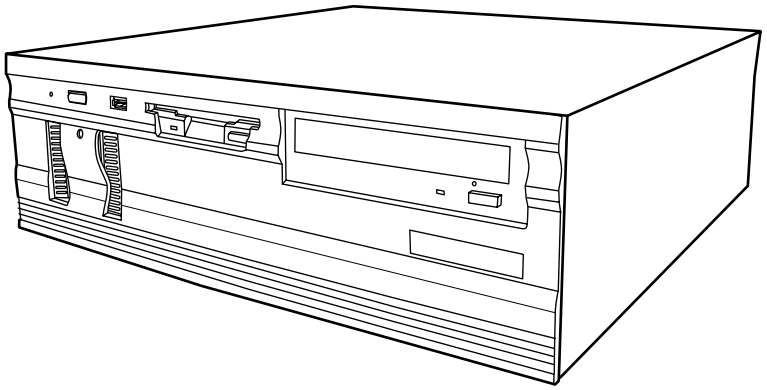
ISIS ビデオテロッパー

型名 BC-8000C
BC-8900D

取扱説明書
(B)

Integrated Super-Image System

ISiS
Integrated
Super-Image
System



お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確めください。

LST0406-001D

このたびはISISビデオテロッパー**BC-8000**シリーズを
お買い上げいただきありがとうございます。

おもな特長

NTSC 映像信号出力

本機で作成した映像(文字や絵)をNTSC映像信号として出力可能です。BC-8900Dの場合は、SD SDI映像信号の出力が可能です。

2画面分のフレームバッファー

フルカラー(1670万色)のフレームバッファーを2画面分装備しています。

外部映像信号との合成出力

本機で作成した映像信号と外部からの映像信号を合成して出力できます。
また、外部からの映像信号を静止画として取り込むこともできます。(BC-8900Dの場合はSDI入力時のみ可能です)

キー信号の出力が可能

キー信号の出力が可能なため、特殊効果装置への接続ができます。

Windows XP Professional対応

Windows XP Professional上で操作が可能です。

BC-9000シリーズとのデータ互換

ISISハイビジョンビデオテロッパーBC-9000シリーズとのデータ変換が可能です。ユーザープリセット可能なレイアウトコンバーターを搭載しています。

ISISテロップソフトでの映像出力

本機での映像信号出力は、ハードディスクに内蔵のISISテロップソフトによって行ないます。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

ご注意 **操作上の注意が書かれています。**

メモ **機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。**

■本書記載内容について

●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
●Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。
●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

●本書に記載されたデザイン、仕様、その他内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

■取扱説明書（マニュアル)の構成

ISISビデオテロッパーのマニュアルは取扱説明書（本書）、ソフトウェアマニュアル、オンエアマネージャーマニュアルから構成されています。取扱説明書をお読みいただき設置していただいたあとは、ソフトウェアマニュアルをお読みいただくだけで操作ができます。各々のマニュアルの内容は下記のようになっています。

1．取扱説明書
　本機の取り付け方法を中心に説明しています。まず、本書からお読みください。
2．ソフトウェアマニュアル（本機にインストールされています。）
　本機に内蔵しているソフトウェア「ISISテロップソフト」のうち、「オンエアマネージャー」（送出ソフトウェア）を除いた部分について説明しています。このソフトウェアマニュアルで本機の基本的な操作が可能です。添付のCD-ROMからも参照できます。
3．オンエアマネージャーマニュアル（本機にインストールされています。）
　本機に内蔵している送出ソフトウェア「オンエアマネージャー」の使い方を説明しています。添付のCD-ROMからも参照できます。

ご使用の前に「ソフトウェアマニュアル」、「オンエアマネージャーマニュアル」をお読みのうえ、正しくお使いください。
本機で閲覧する場合は、デスクトップのアイコンをダブルクリックしてください。
本機以外で閲覧する場合は、以下のいずれかのソフトウェアがパソコンにインストールされている必要があります。
●Adobe Acrobat Reader 5.0以上／Adobe Reader 6.0以上

はじめに

もくじ

はじめに
最初にお読みください

おもな特長 2
もくじ 3
付属品・添付物 3
正しくお使いいただくためのご注意 4
各部の名称とはたらき 6

設置と準備
接続と準備をするときにお読みください

作業の流れ 11
システム接続例 12
接続の手順 14

操作の基本

電源の入れかた 15
電源の切りかた 16
テロップを出すには 18

システムアップをする

周辺機器をつなぐ 23
特殊効果装置をつなぐ 25
特殊効果装置システム接続例 27
複数台のISISをネットワークにつなぐ 29

困ったときは

故障かな？と思ったら 30
ソフトウェアの再インストール 32

その他

保証とアフターサービスについて 34
仕様 35

付属品・添付物

ISISビデオテロッパーの付属品・添付物は次のとおりです。過不足がないか確認してください。不足している物があれば、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属品・添付物

取扱説明書（本書） 1
安全上のご注意 1
業務機器ビクターサービス窓口案内 1
保証書 1
ユーザー登録カード 1
ISIS CD-ROM （テロップソフト、ソフトウェアマニュアル、
オンエアマネージャーマニュアル） 1
フォント5書体 CD-ROM（BC-8000Cのみ） 1
フォント15書体 CD-ROM（BC-8900Dのみ） 1
109日本語キーボード 1
スクロールマウス 1
電源コード(2.5 m) 1
電源コード用3P-2P変換器 1
マザーボード user's manual 1
Main Board Utility ディスク CD-ROM 1
Windows XP Professional ファーストステップガイド 1
Windows XP Professional CD-ROM 1

正しくお使いいただくためのご注意

安全に正しくお使いいただくために、別冊の「安全上のご注意」をあわせてお読みになってからご使用ください。

設置について

⚠注意

■必ずアース接続を行なってください。

本機は電源コンセントの近くに設置してください。
添付のACコード用3P-2P変換器を電源プラグに使用する場合は、ACコード用3P-2P変換器の2P側のグランド線(緑)を最初にアース接続してください。そのあとに電源プラグをコンセントに差し込んでください。アース接続しない場合、漏電により火災や感電の原因になります。

■電源コードは指定(付属)のものをお使いください。

指定以外のコードを使用したり、傷んでいるコードを使用すると火災や感電の原因になります。

■付属の電源コードは、本機以外の機器で使わないでください。

■落雷の保護

落雷などの影響で電力の急激な変化から本機を保護するため、サージサプレッサー(過電流制御装置)、ラインコンディショナー、3極タイプサージプロテクター、または無停電電源装置(UPS)のいずれかをお薦めします。

■本機の上にモニターテレビなどの重いものをのせないでください。動作不良を起こす原因となります。

保管および設置場所

■次のような場所では保管または使用しないでください。誤動作や故障の原因になります。

- 許容動作温度(10℃～35℃)範囲外の極端に暑いところや寒いところ
- 許容動作湿度(30%～80%)範囲外の湿気の多いところ
- 変圧器やモーターなどの強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を 発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- つゆつき(結露)の発生しやすいところ
- 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

■機器内の温度上昇を防ぐため、ファン開口部を塞いで使用しないでください。

■本機を立てて使用しないでください。

■ショックを与えないよう、ていねいにお取り扱いください。

電源OFF後は必ず15秒以上本機に振動、衝撃を与えないようにしてください。

■本機は柔らかい布でふいてください。

シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたりくもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

■電源を完全に遮断する場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、本機のACインレット(AC IN)から電源コードを抜いてください。

省エネについて

■節電のため使用しないときは正しい手順で電源を切ってください。(16ページ参照)

また、長時間使用しないときは背面の1次電源スイッチを切ってください。

内蔵電池について

本機コンピュータ部メインボード上にリチウム電池CR2032(3 V)を使用しています。通常使用で電池寿命はおよそ3年です。
交換の際は、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご相談ください。

ご注意 ボタン電池交換の際、正しく交換しないと電池が爆発する危険があります。
CR2032タイプの電池と交換してください。
使用後の電池を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適正に処理してください。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機は情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)クラスA情報装置の基準に適合した製品ですが、テレビやラジオ受信機、無線機などの近くで使用しますと、画面が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。このような場合は、以下の処置を試してください。

- 本装置をラジオ・テレビから離すか、向きを変えてみてください。
- 室内アンテナをご使用の場合には、アンテナの向きや位置を変えてみてください。
- ラジオ・テレビの電源コンセントとは別のコンセントを使ってみてください。
- 電源コンセントと電源プラグとの間に、市販されているノイズフィルタを入れてみてください。

入力するビデオ信号について

コンポジット、BB、Y/C信号を入力する場合は、必ずTBC/TBS機能などを使用して安定した信号を入力してください。一般の民生用ビデオデッキなどの不安定なビデオ信号では、ご使用できません。

添付CD-ROMの取り扱いについて

ISISテロップソフトおよびフォントの添付CD-ROMについて著作権に関するご注意

1.権利
お客様は、本ソフトウェア（ハードディスクにプリインストールされたものやマニュアルなどに記載された情報のことを言います）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。本ソフトウェアの著作権は日本ビクター株式会社にあります。

2.使用
本ソフトウェアはISISビデオテロッパーに1セットをインストールされた状態でのみ使用することができます。
ISISビデオテロッパー用フォントはお客様が設定著作物等の制作に使用できますが、Windows XP Professional にあらかじめ含まれているフォントを使用するとフォントの著作権に抵触する場合があります。それぞれのフォントの制作元に確認のうえ使用してください。

3.複製
本ソフトウェアの一部または全部を無断で複製することは禁止されます。

4.第三者との関係
お客様は、当社の事前の了承なく、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアを第三者に譲渡・使用させることはできません。

5.変更
本ソフトウェアの内容は、将来予告なしに変更することがあります。

6.免責
本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害及び第三者からのお客様に対する請求については、弊社及び販売店等はその責任を負いません。

他のアプリケーションソフトウェアについて

本機はISISビデオテロッパーとしてコンピュータを専用的にカスタマイズしたものです。ISISテロップソフト及び関連機器を操作するソフト以外のものをインストールした場合の動作保証はしておりません。メモリ常駐型のウィルス対策ソフトを同時に使用するとISISビデオテロッパーの動作が遅くなることがあります。このため、添付インストーラーディスク(CD-ROM)内のウィルス対策ソフトについても動作保証はしておりません。
関連機器に付属しているユーティリティソフトや工場出荷時とは異なるWindows XP Professional のサービスパックなどについても同様に保証しておりません。
　これらのソフトウエアをインストールしたために直接的、あるいは間接的に生じたISISビデオテロッパーの動作不具合についてのサービス対応は、保証期間にかかわらず有償となりますのでご注意ください。

データのバックアップについて

内蔵のハードディスクが故障した場合、作成したデータはすべて失われます。
ハードディスクのトラブルに備えてデータのバックアップを定期的に取る事をおすすめします。
バックアップの方法についてはWindows XP Professionalのヘルプを参照してください。

- ●運用に際して生ずる結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●このISISビデオテロッパーを使用できるのは、国内のみです。外国では、信号方式、電源電圧が異なりますので、使用できません。
- ●写真や図は説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしています。実物とは、多少異なりますのでご了承ください。
- ●テレビ放送や録画(録音)物などから取り込んだ画像は、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。

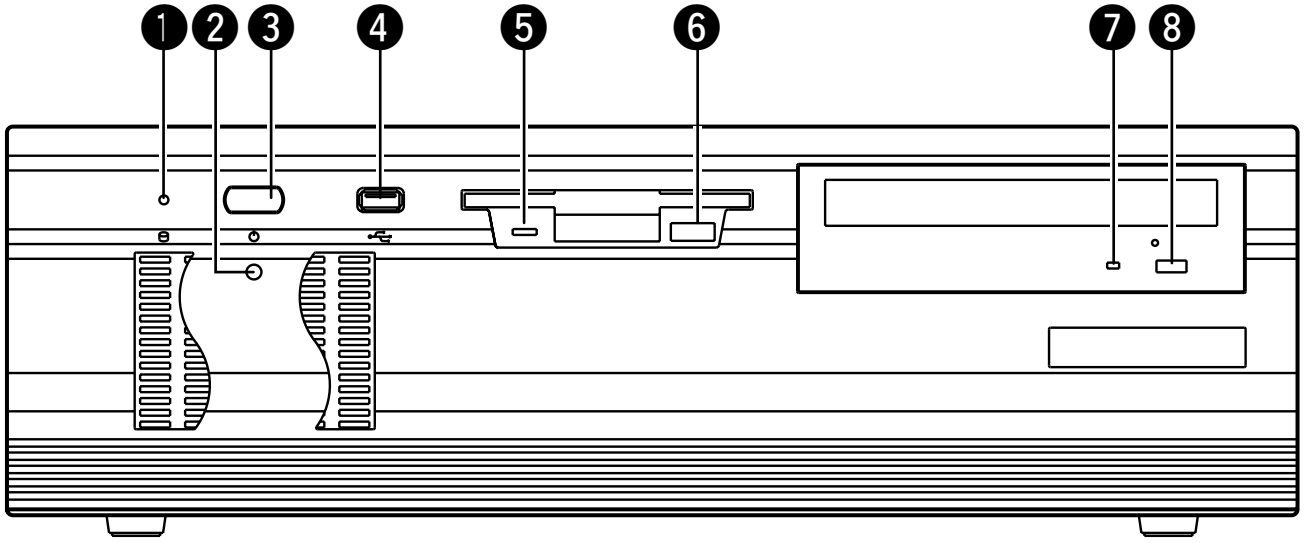
ウィルス対策について

本機はOSにマイクロソフト社のWindowsを使用しております。Windowsの不具合によるウィルス被害が報告されております。本機を快適にご使用いただくため、マイクロソフト社が提供する情報にご注意いただき、適切なWindowsのアップデートをお願い致します。

マイクロソフト社のホームページアドレス：
　http://www.microsoft.com/japan/

各部の名称とはたらき

本機前面（BC-8000シリーズ共通）



❶ハードディスクドライブアクセス表示灯
表示灯は、ハードディスクドライブがデータを読み書きするときに点灯します。

❷電源表示灯
本機動作中に点灯します。

❸オペレートボタン(2次電源スイッチ)
システムのAC入力電力を2次管理します。
背面の1次電源スイッチを入れてから操作してください。
パワーオンでWindows XP Professionalが起動します。続いてISISソフトウェアが起動します。

ご注意

動作中に本ボタンを押すと電源を切ることができますが、コンピュータの設定変更などが破棄されますので、通常は「スタート」メニューの「終了オプション」で電源を切ってください。
（16ページ参照）

❹USB(Universal Serial Bus)コネクター
USB1.1／2.0対応の周辺機器をつなぎます。

ご注意

接続する周辺機器はWindows XP Professional対応 のものをご使用ください。

❺フロッピーディスクドライブアクセス表示灯
表示灯は、フロッピーディスクドライブがデータを読み書きするときに点灯します。
表示灯が、消えるのを待って、ドライブからフロッピーディスクを抜き出してください。

❻フロッピーディスク取り出しボタン
フロッピーディスクを取り出すときに押します。

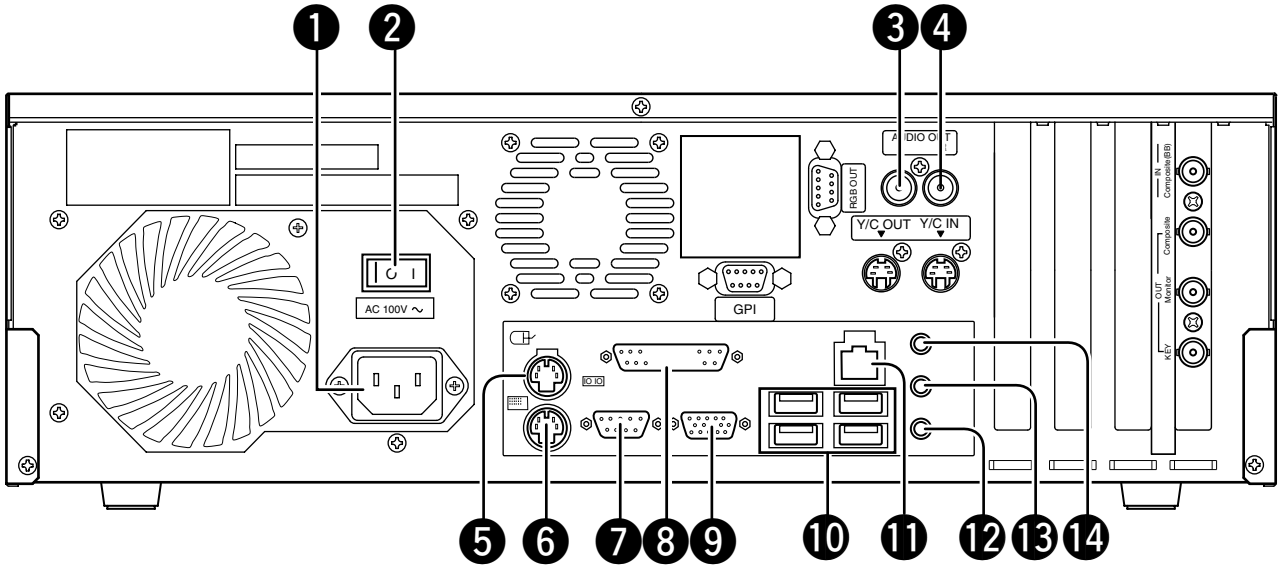
❼DVD-ROM表示灯
DVD-ROMの情報読み取り中に点灯します。

❽DVD-ROM取り出しボタン
DVD-ROMを取り出すときに押します。

ご注意

ISISビデオテロッパー使用中はDVD-ROMドライブにオーディオCDやDVDビデオは入れないでください。

本機背面（共通部分、図はBC-8000Cの場合）



❶ACインレット
付属の電源コードを接続してください。

❷1次電源スイッチ
1次電源のON/OFFをします。

❸音声出力端子(L)
音声信号を出力します。ISISビデオテロッパーとしては使いません。

❹音声出力端子(R)
音声信号を出力します。ISISビデオテロッパーとしては使いません。

❺マウスコネクター
付属のPS/2（Personal System/2）対応のスクロールマウスをつなぎます。

❻キーボードコネクター
付属の109日本語キーボードをつなぎます。

❼シリアルポートコネクター
シリアル伝送を必要とする外付けモデムなどとつなぎます。内蔵シリアルポートの初期設定は[ＣＯＭ１]です。

❽パラレルポートコネクター
おもにプリンターにつなぎます。

❾ビデオコネクター
15ピン高密度Dサブミニチュアコネクターを使用し、ビデオグラフィックアレイ（VGA）対応モニターを本機に接続します。

❿USB（Universal Serial Bus）コネクター×4
USB1.1／2.0対応の周辺機器をつなぎます。

ご注意

接続する周辺機器はWindows XP Professional対応のものをご使用ください。

⓫LANコネクター
RJ-45ケーブルを使用して、ネットワークにつなぎます。10BASE-T、100BASE-TXおよび1000BASE-T Ethernet規格に準拠しています。

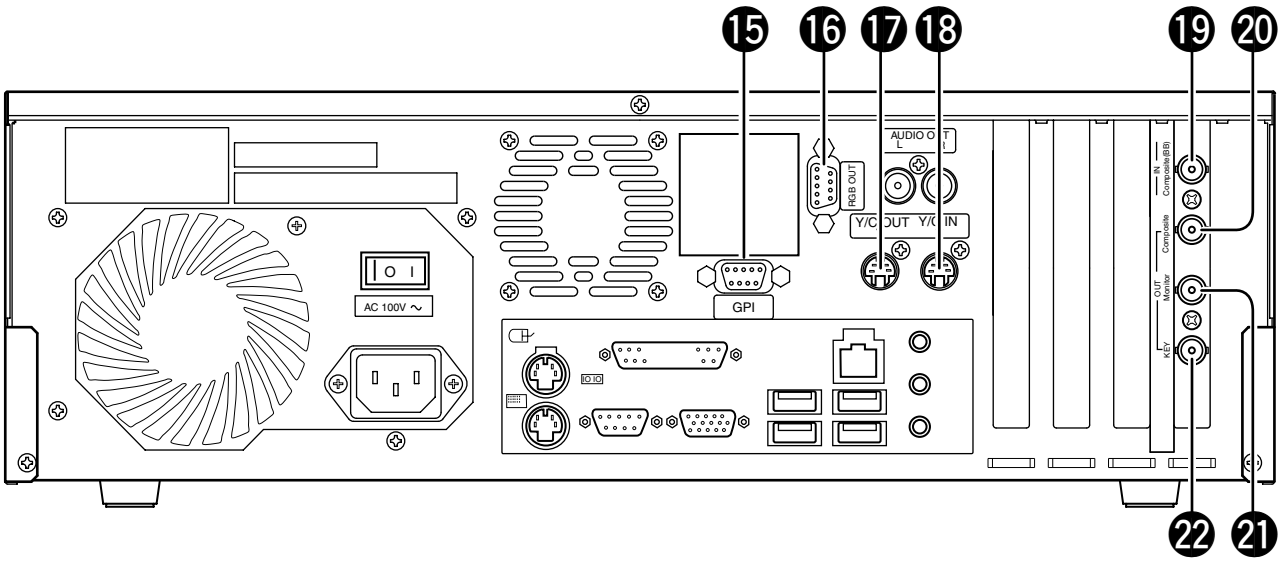
⓬ライン出力 （フロントスピーカー）コネクター（ステレオ ミニジャック）
音声信号を出力します。ISISビデオテロッパーとしては使いません。

⓭ライン入力コネクター（ステレオ ミニジャック）
音声信号を入力します。ISISビデオテロッパーとしては使いません。

⓮マイクロホンコネクター（ミニジャック）
マイクをつなぐと、マイク音声信号を入力できます。ISISビデオテロッパーとしては使いません。

各部の名称とはたらき（つづき）

本機背面（BC-8000Cの場合）



⑮GPI端子

GPI入出力端子を持つ外部機器（ビデオ編集コントローラー等）と接続し、外部機器から動作をコントロールすることができます。

⑯アナログRGB出力端子

NTSC信号レベルのRGB信号を出力します。

⑰Y/C出力端子

セパレートY/C信号を出力します。

⑱Y/C入力端子

セパレートY/C信号を入力します。

⑲Composite(BB)入力端子

コンポジットビデオの入力信号または同期用ブラックバースト信号を入力します。

⑳Composite出力端子

コンポジットビデオ信号を出力します。

㉑Monitor出力端子

モニター用のコンポジットビデオ信号を出力します。

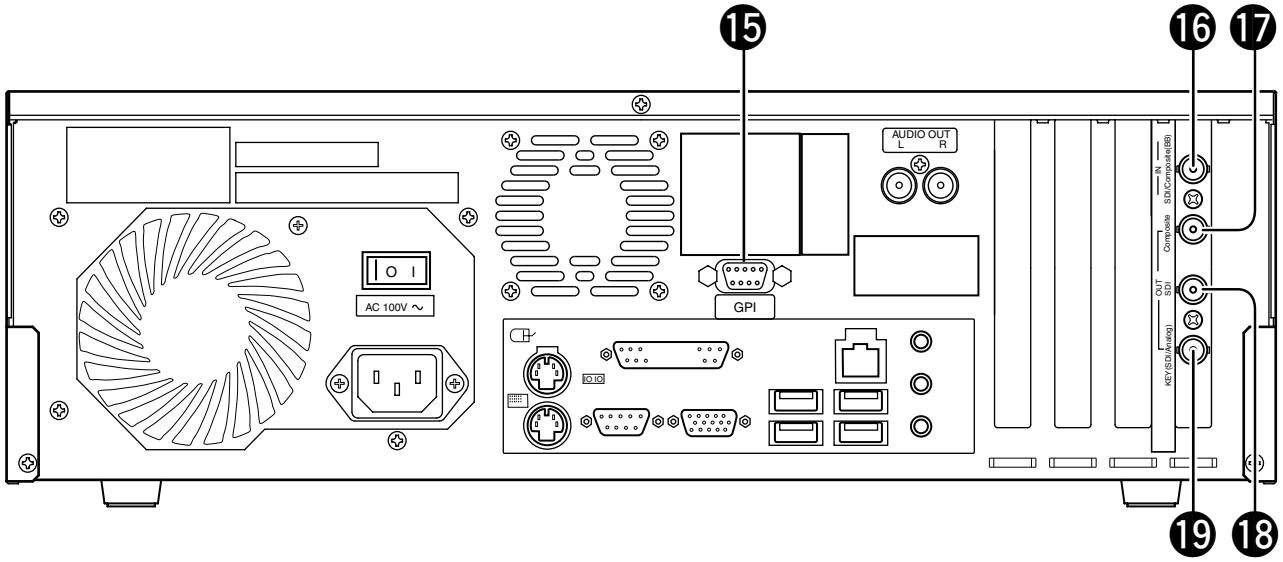
㉒KEY出力端子

キー信号を出力します。

ご注意

- 機器設置等で入出力端子に触れる際にはあらかじめ静電気を除去した後、作業を行なってください。
- BNCケーブルを必ず使用してください。RCAピンコードなどを使用すると静電気が芯線に飛び、故障の原因になります。
- 静電気により誤動作をする恐れがありますので、動作中は本機のリアパネルに触れないでください。

本機背面（BC-8900Dの場合）



⑮GPI端子

GPI入出力端子を持つ外部機器（ビデオ編集コントローラー等）と接続し、外部機器から動作をコントロールすることができます。

⑯SDI/Composite入力端子

SDI信号またはコンポジットビデオ信号を入力します。信号の種類は本機により自動判別されます。

⑰Composite出力端子

コンポジットビデオ信号を出力します。

⑱SDI出力端子

SDI映像信号を出力します。

⑲KEY出力端子

KEY信号（SDIまたはアナログ）を出力します。ISISボード上のスライドスイッチにより切り換えます。
工場出荷時設定はSDI側になっております。

メモ

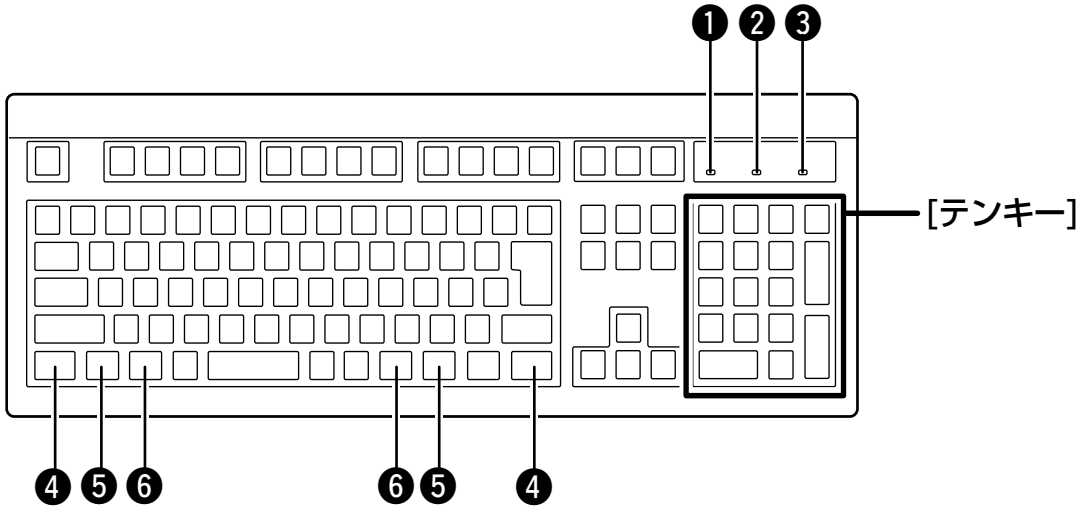
KEY信号設定変更の際は、内部での設定変更が必要となりますのでビクターサービス窓口にご依頼ください。

ご注意

- 機器設置等で入出力端子に触れる際にはあらかじめ静電気を除去した後、作業を行なってください。
- BNCケーブルを必ず使用してください。RCAピンコードなどを使用すると静電気が芯線に飛び、故障の原因になります。
- 静電気により誤動作をする恐れがありますので、動作中は本機のリアパネルに触れないでください。

各部の名称とはたらき（つづき）

キーボード（109日本語キーボード）



❶「Num Lock」表示
表示灯が点灯中は、テンキーから数字を入力できます。
「Num Lock」キーで点灯状態を切り換えます。

❷「Caps Lock」表示
表示灯点灯中は、英文字を大文字で入力できます。
「Shift」＋「Caps Lock」キーで点灯状態を切り換えます。

❸「Scroll Lock」表示
表示灯点灯中は「ScrollLock」キーが有効の時です。
「Scroll Lock」キーで点灯状態を切り換えます。

❹「Ctrl」
他のキーとの組み合わせでさまざまな機能（ショートカット機能）を実行します。本機操作上では「ソフトウェアマニュアル」と「オンエアマネージャーマニュアル」に具体的記述があります。

❺「Windows」
Windows XP Professionalの「スタート」メニューを開きます。

❻「Alt」
他のキーとの組み合わせでさまざまな機能を実行します。本機操作上では「ソフトウェアマニュアル」に具体的記述があります。

メモ

キーボード上の表示と、 特別なキーだけを説明しています。その他のキー操作については、添付の「ソフトウェアマニュアル」「オンエアマネージャーマニュアル」か「初心者向けパソコン解説書」を参照してください。

設置と準備

作業の流れ

ＳＴＥＰ１：付属品・添付物の確認

付属品・添付物の過不足がないか確認します。不足があった場合は、お買い上げ販売店にご連絡ください。

3ページ参照

ＳＴＥＰ２：ユーザー登録カードの記入

当社では、ユーザー登録カードの情報をもとにお客様からのお問い合わせの対応や、ソフトウェアのバージョンアップ情報などを提供させていただいております。必要事項を記入のうえ、必ず返送していただきますようお願いします。

ＳＴＥＰ３：接続するシステムの確認

特殊効果装置などをつなぐときは、本機とつなぐ前に接続図を書いてください。接続図を書くことでトラブルを少なくする事ができます。接続方法がおわかりにならない場合や、特殊効果装置との接続・周辺機器（カラーイメージスキャナ、光磁気ディスク、など）の接続はお買い上げの販売店にご相談ください。

ＳＴＥＰ４：設置場所と電源の用意

本機だけでなく、編集機器や周辺機器の置き場所を考慮して設置場所を決めてください。
また、作成中のデータを保護するため、安定した電源をご用意ください。（500 W以上の無停電電源装置の使用をお勧めします。無停電電源装置については販売店にご相談ください。）
落雷の影響を防ぐため3極タイプの雷サージプロテクターの使用をお勧めします。
本機をラックに取り付ける場合の専用金具は用意してありません。
ラックに取り付ける場合は、お客様が棚板、取り付け金具等を用意してください。

ＳＴＥＰ５：設置と接続

設置する機器にあわせて、電源用のテーブルタップや映像、音声ケーブルをご用意ください。

12ページ参照

ＳＴＥＰ６：調整（必要に応じて）

特殊効果装置と組み合わせた場合は設置調整が必要です。測定器や本機内部の調整が必要な場合もありますので、調整はお買い上げの販売店やビクターサービスにご依頼ください。

25ページ参照

ＳＴＥＰ７：ＩＳＩＳビデオテロッパーを使う

調整が終われば本機を使用することができます。本書では電源の入れ方とサンプルデータの実行（スーパーインポーズのしかた）までの説明のみ記載しています。テロップの作り方及び動作の方法はソフトウェアマニュアルとオンエアーマネージャーマニュアルをお読みください。

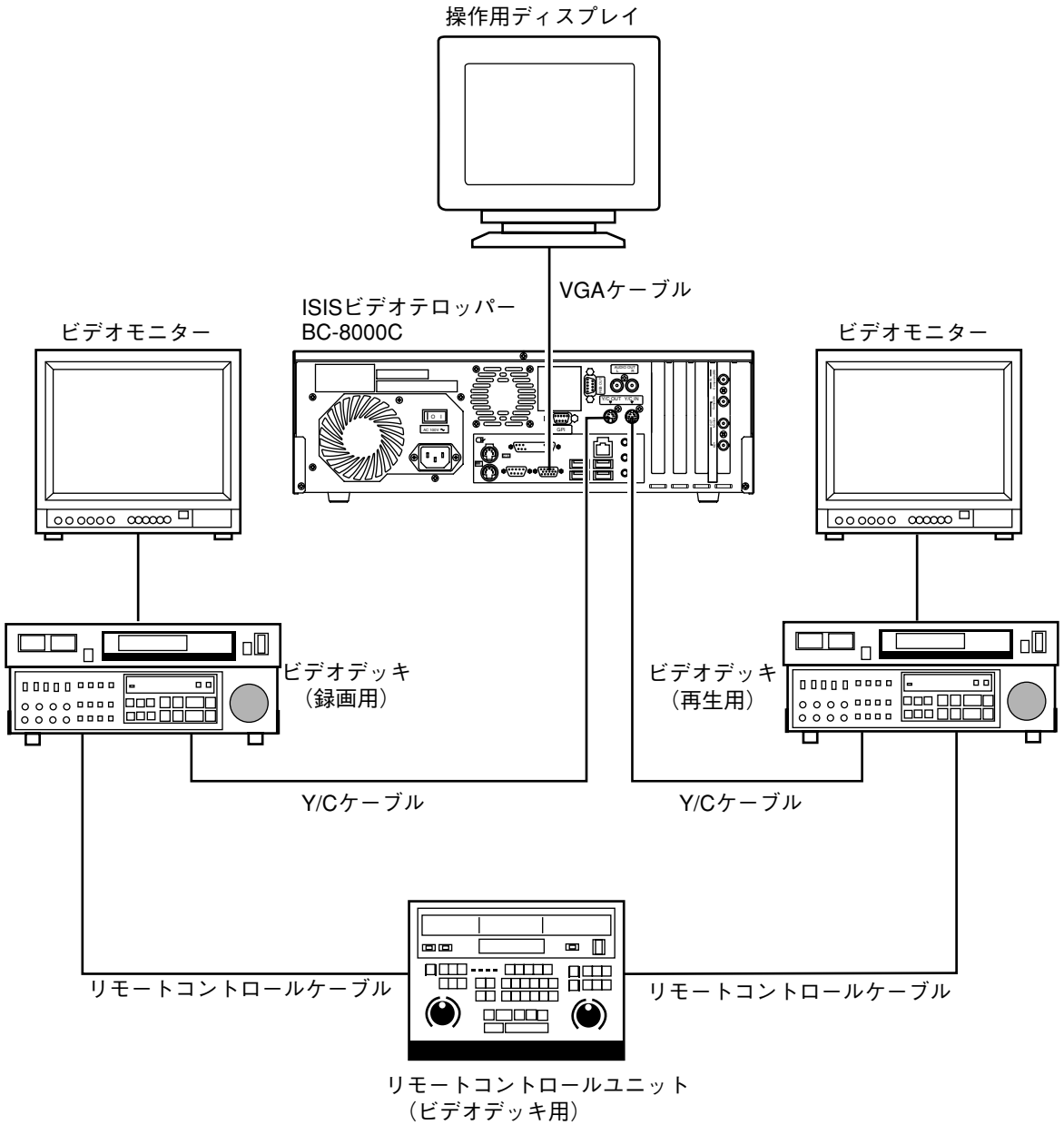
15ページ参照

システム接続例

基本的な接続例をご紹介します。各機器の接続は、電源を切ってから行なってください。

BC-8000Cの場合

（信号系Y/Cケーブル接続例）



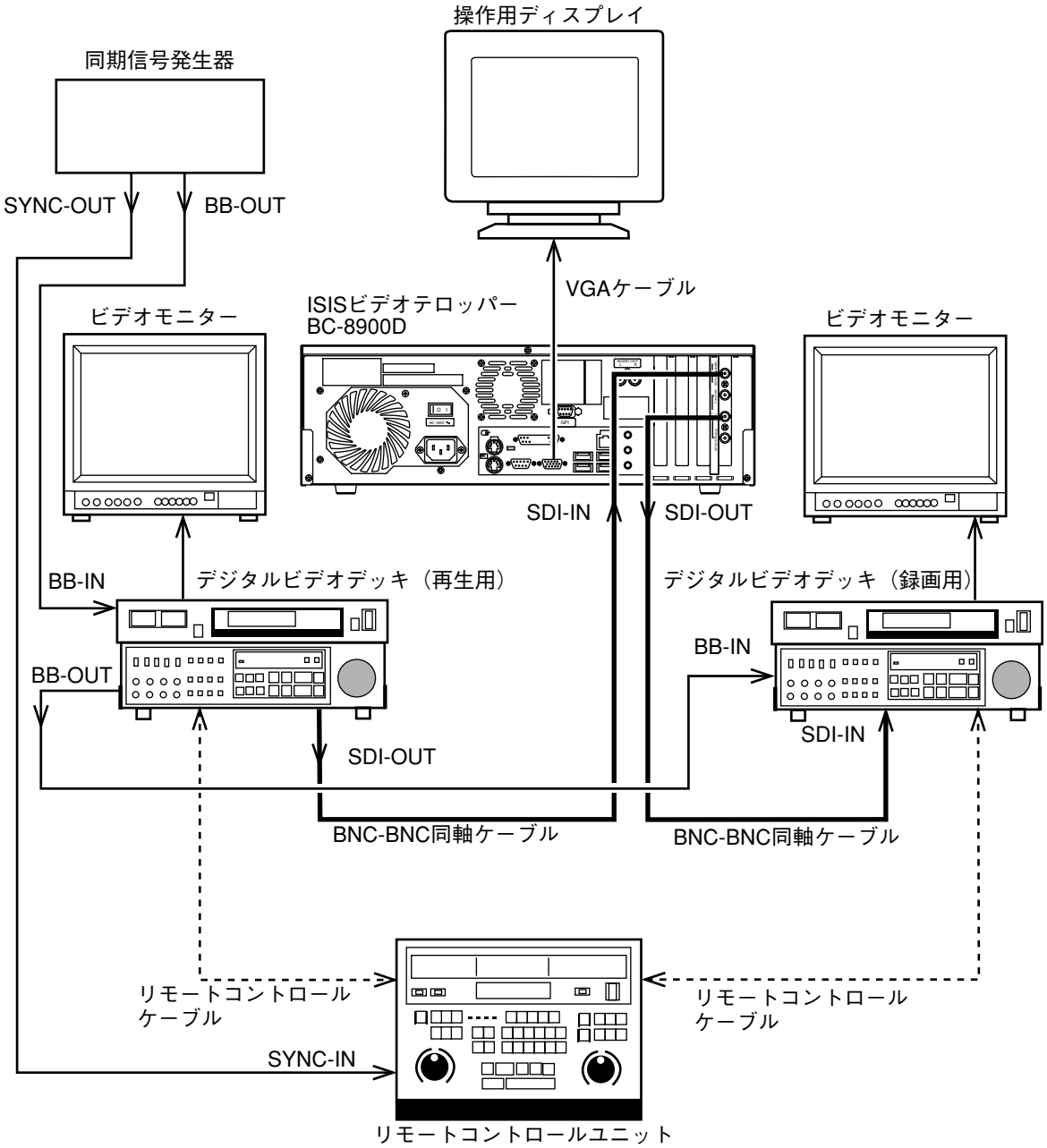
ご注意

- 音声系は省略しております。別に音声系の接続が必要です。
- マウス、キーボード、電源ケーブルは省略しております。
- ISISビデオテロッパー以外の機器は、接続ケーブルを含めて別売です。
- アナログビデオデッキのビデオ信号を入力する場合は、TBC/TBS機能などを使用して安定した信号を入力してください。

基本的な接続例をご紹介します。各機器の接続は、電源を切ってから行なってください。

BC-8900Dの場合

（信号系SDI接続例）



ご注意

- 音声系は省略しております。別に音声系の接続が必要です。
- マウス、キーボード、電源ケーブルは省略しております。
- ISISビデオテロッパー以外の機器は、接続ケーブルを含めて別売です。
- アナログビデオデッキのビデオ信号を入力する場合は、TBC/TBS機能などを使用して安定した信号を入力してください。

接続の手順

⚠ 警告

感 電

●電源を入れる前に、必ずアース接続をしてください。アース接続ができない場合は、販売会社にご相談ください。
アースを接続しないで使用されますと、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

感 電

●操作用ディスプレイ、キーボード、マウス、電源ケーブルの取り付けや取り外しを行う場合は、ISISビデオテロッパー本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行なってください。感電や故障の原因となります。

●静電気は、機器内部のデリケートな電子部品を損傷する恐れがあります。損傷を防ぐために、機器設置時や内部の作業の際はあらかじめ静電気を除去してください。
アース接続部分（本機筐体の塗装されていない金属部分）に触れることにより、静電気を除去することができます。

⚠ 注意

故 障

●ケーブルの接続は、間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、ISISビデオテロッパーおよび周辺機器が故障する原因となります。

●万一のトラブルに備えて、データのバックアップを定期的にとることをおすすめします。

1 ISISビデオテロッパー本体に、マウス、キーボード、電源コードなどを接続する

ご注意 **電源コードは必ず付属のものをご使用ください。**

2 カラービデオモニター、操作用ディスプレイ、ビデオデッキを接続する

ご注意 **操作用ディスプレイは必ず指定のものをご使用ください。**
操作用ディスプレイ：1152×864ドット以上、DOS/V対応ディスプレイ

3 電源プラグをコンセントに差し込む

ご注意 付属の電源コード用3P-2P変換器を電源プラグに使用する場合は、電源コード用3P-2P変換器の2P側のグランド線（緑）を最初にアース接続してください。その後に電源プラグをコンセントに差し込んでください。
アースを接続しないで使用されますと万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。
また、落雷の影響を防ぐため3極タイプの雷サージプロテクタの使用をおすすめします。

操作の基本

電源の入れかた

1 周辺機器の電源を入れる

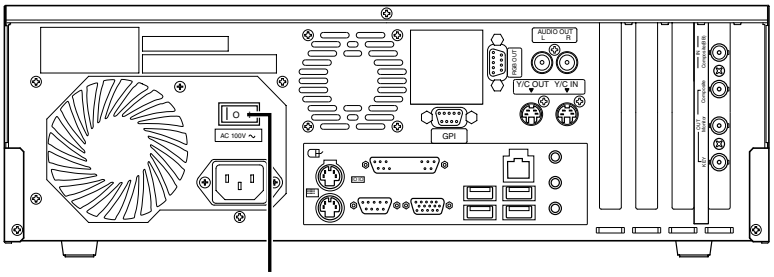
・ビデオデッキやコントローラー、TVモニター、操作用ディスプレイの電源を入れます。

ご注意

電源を入れたまま、持ち運んだり衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因になります。

2 本機背面の1次電源スイッチを入れる

＜本機背面＞



1次電源スイッチ

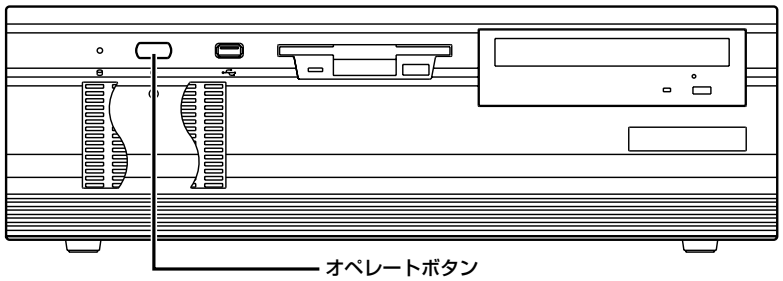
ご注意

電源を切って、再度電源を入れるときは、5秒以上間隔をあけてから行なってください。

3 本機前面のオペレートボタンを押す

・本機のセルフチェックが始まり、しばらくすると操作用ディスプレイには自動的にISISビデオテロッパーのメインダイアログが表示されます。

＜本機前面＞



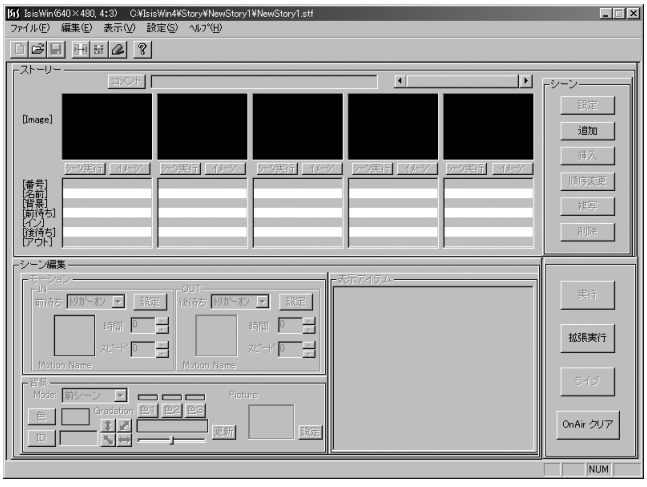
オペレートボタン

ご注意

●操作ディスプレイ画面に何も表示されないときは、周辺機器との接続を見直してください。

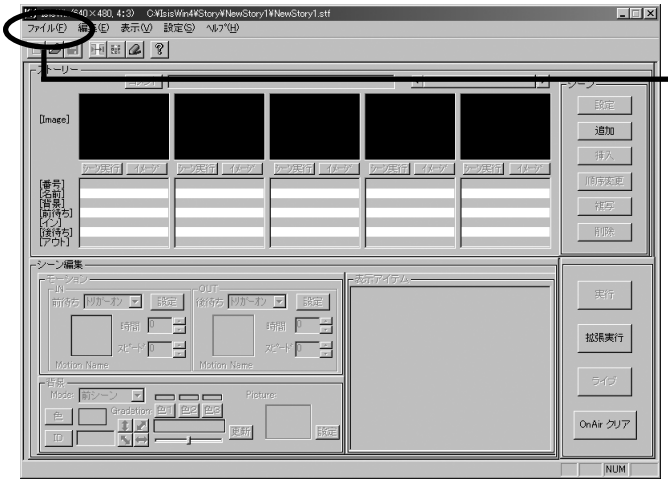
●ISIS ビデオテロッパーメインダイアログ表示後に画面が操作ディスプレイの中央に表示されないときは、ディスプレイ側で表示位置を調整してください。

＜ISISビデオテロッパーメインダイアログ＞



電源の切りかた

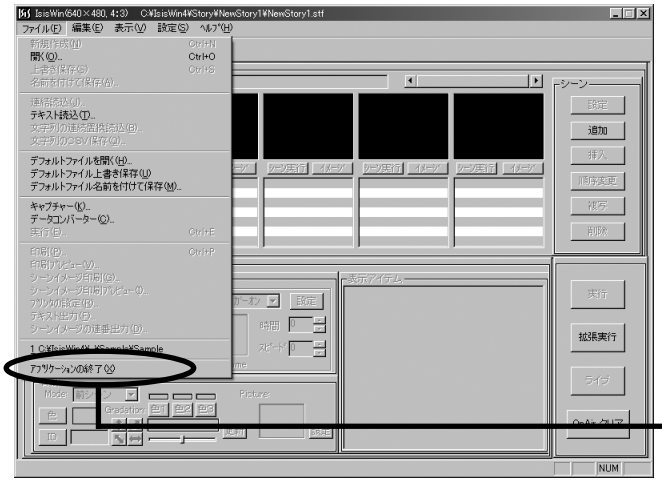
1 ISISビデオテロッパーメインダイアログの<ファイル>をクリックする



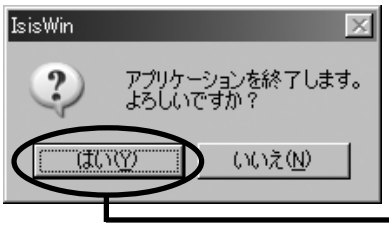
ご注意

●動作中に前面のオペレートボタンや背面の１次電源スイッチでも電源は切れますが、変更した設定内容やハードディスク内のデータ、ハードディスク本体を破壊する原因となります。

2 <アプリケーションの終了>をクリックする

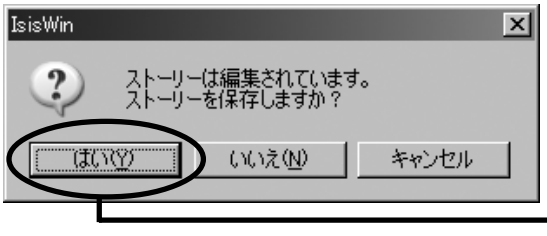


3 <はい>にマウスカーソルを合わせクリックする



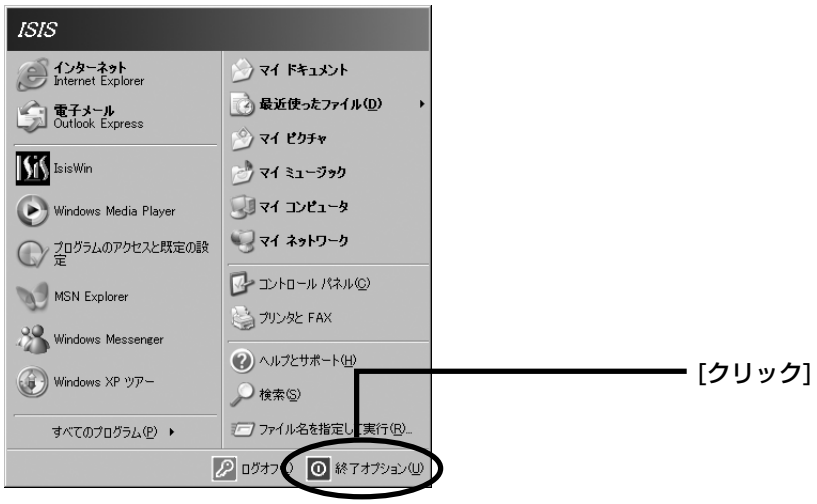
■テロップデータを編集したとき

<はい>にマウスカーソルを合わせクリックします。
保存の必要がないときは<いいえ>をクリックします。



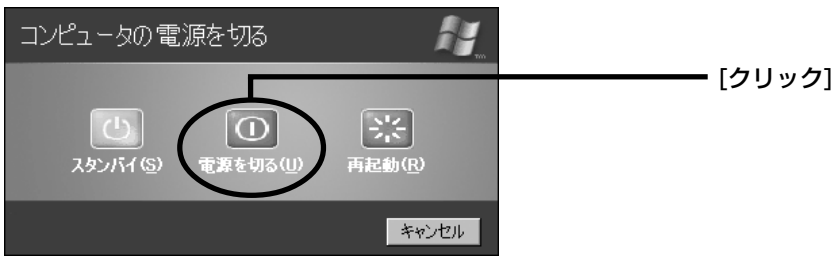
4 Windowsの<スタート>にマウスカーソルを合わせクリックする

5 <終了オプション>をクリックする



6 <電源を切る>をクリックする

・Windowsが終了し、電源が切れます。



メモ

電源が切れてもキーボードの「Caps Lock」や光学式マウスの発光は消えません。

7 周辺機器の電源を切る

・ビデオデッキやコントローラー、TVモニター、操作用ディスプレイの電源を切ります。

テロップを出すには

ビデオ映像に文字を合成することをスーパーインポーズといいます。本機に装備されたサンプルデータを使って、スーパーインポーズの操作方法を説明します。

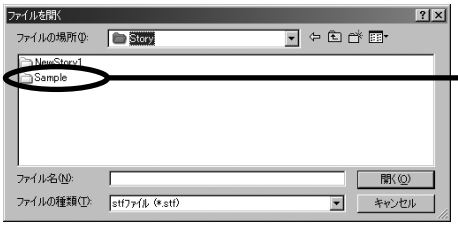
1 メインダイアログの＜ファイル＞→＜開く＞をクリックする

メモ

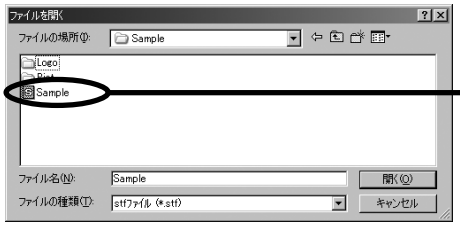
●操作用ディスプレイ画面にメインダイアログが表示されていないときは、デスクトップ画面上 をダブルクリックします。

●操作方法の詳細は、ソフトウェアマニュアルのダイアログ説明を参照してください。

2 ＜Sample＞フォルダをダブルクリックする



3 ＜Sample＞ファイルをダブルクリックする



しばらくするとメインダイアログにサンプルデータが表示されます。

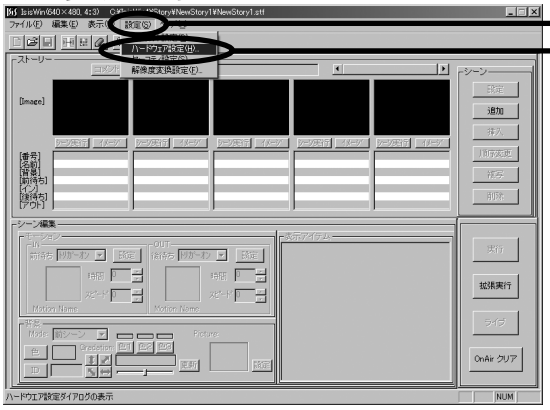
4 本機背面の入力端子に映像信号を入力する

入力端子＼型番	BC-8000C
Composite(BB)	○
Y/C	○

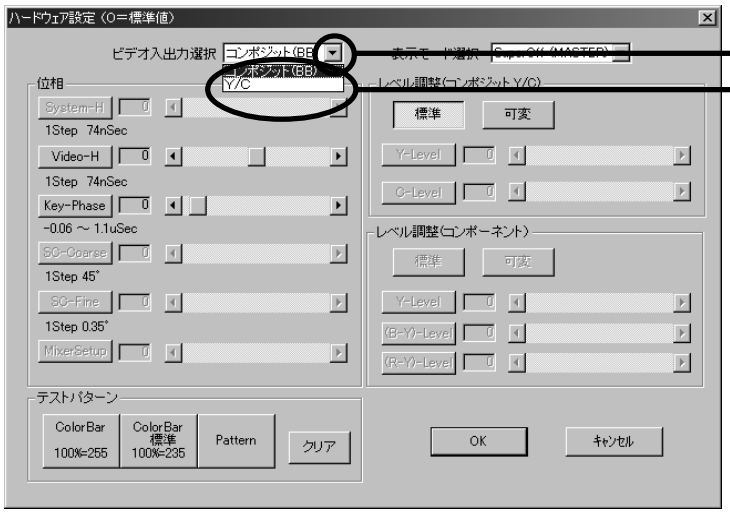
入力端子＼型番	BC-8900D
SDI/ Composite(BB)	○

○：入力可能な端子および映像信号種類

5 メインダイアログの＜設定＞→＜ハードウェア設定＞をクリックする



6 ビデオ入出力モードを設定する



①[クリック]

② **4で接続した入力端子に対応した項目を選択**

メモ

●入力をComposite(BB)に接続している場合は＜コンポジット(BB)＞、Y/Cに接続している場合は＜Y/C＞を選びます。
● BC-8900D ではビデオ入出力選択による切り替えはできません。（SDI 入力、Composite(BB)入力を自動判別します。）

7 表示モードを設定する

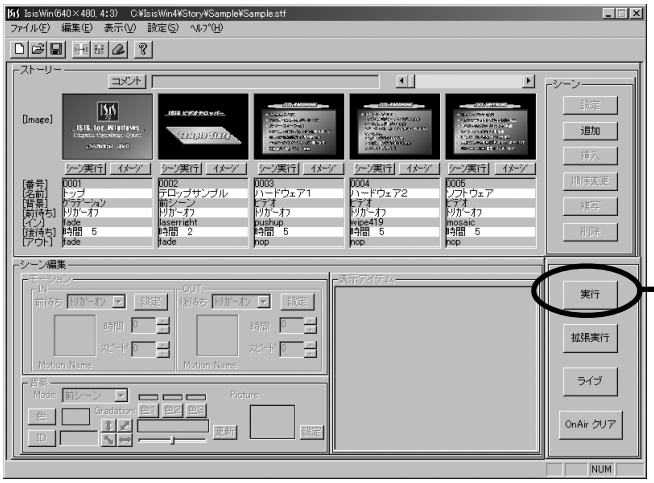
①[クリック]

②[Super On]を選択

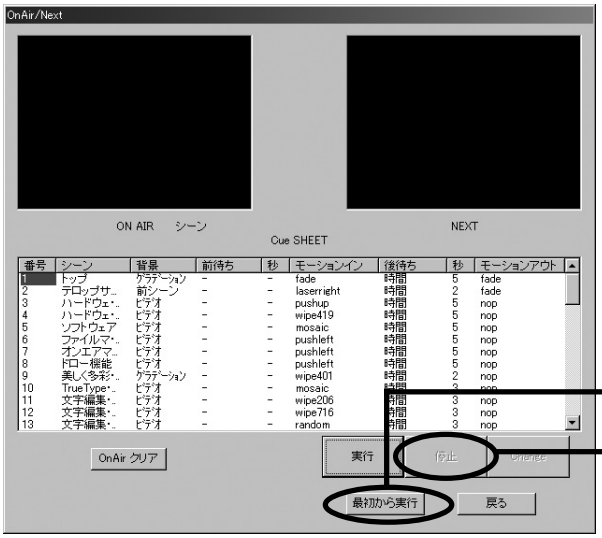
③[クリック]

テロップを出すには（つづき）

8 メインダイアログの＜実行＞をクリックする



9 ＜最初から実行＞をクリックする



・操作用ディスプレイにはOnAir/Next画面（上図）が表示されます。
録画側のTVモニターには、再生ビデオデッキからの映像に本機の文字や絵が合成され表示されます。

メモ

●スーパーインポーズしないときは、**5** ～ **9** を繰り返し、設定を見直してください。

ご注意

●本機は専用ディスプレイで作業をしていますので、録画されたテープと色などが違って見えます。本編集の前にリハーサル（ライブ）を行なって録画用モニターで確認されることをおすすめします。

●BC-8900Dでは、入力端子に＜Composite＞または＜BB＞信号を接続したときは、SDI出力端子からは入力した映像は出力されません。
入力端子に＜SDI＞信号を接続したときは、Composite出力端子にも入力した映像が出力されます。

■ハードウェア設定ダイアログ（補足）

このダイアログは次の操作を行ったときに表示します。

●メインダイアログの設定メニュー「ハードウェア設定」を選択したとき。

●操作方法の詳細はソフトウェアマニュアルのダイアログ説明を参照してください。

1. ビデオ入出力選択

入出力信号を選択します。BC-8900Dでは選択できないようになっています。(SDI入力、Composite(BB)入力を自動判別します。)
外部同期で動作をさせる場合は同期の基準となる信号の選択を兼ねます。（外部同期は[表示モード選択]のSuper Off(MASTER)以外です。）

ご注意

ビデオ入出力選択時に画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。

2. 表示モード選択

出力信号の画像と同期の選択をします。

ご注意

表示モード選択時に画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。

Super Off（MASTER）

内部同期。内部生成画像だけを内部生成同期で出力します。
全端子から内部生成画像が出力されます。
CG出力の色が不安定になることがありますので、コンポジット入力端子には何も接続しないでください。

Super Off（SLAVE）

外部同期。内部生成画像だけを入力信号に同期させて出力します。
全端子から内部生成画像が出力されます。

ご注意

SDI入力時（BC-8900D）は、Composite出力のカラー信号は入力信号にロックしません。

テロップを出すには（つづき）

Super On

外部同期。内部生成画像を入力信号にスーパー(重畳)させて出力します。

BC-8000C

出力端子 / 入出力選択	Composite	Y/C
コンポジット(BB)	○	−
Y/C	−	○

BC-8900D

出力端子 / 入力信号	Composite	SDI
コンポジット(BB)	○	内部生成画像
SDI	SuperOnをコンポジットに変換した画像	○

LIVE(スルー)

外部同期。入力信号をスルー出力します。

BC-8000C

出力端子 / 入出力選択	Composite	Y/C
コンポジット(BB)	○	−
Y/C	−	○

BC-8900D

出力端子 / 入力信号	Composite	SDI
コンポジット(BB)	○	黒画面
SDI	SDI入力をコンポジットに変換した画面	○

LIVE(キャプチャー)

外部同期。入力信号をディジタイズ(A/D、D/A変換)した画像を出力(デジタルスルー)します。
全端子からデジタルスルー画像が出力されます。

ご注意

- このモードでは入力信号がボード上の画像メモリに取り込まれるため、編集などで表示していたCG画像は破棄されます。
- SDI入力時(BC-8900D)は、Composite出力のカラー信号は入力信号にロックしません。
- BC-8900DはSDI入力時のみ出力されます。

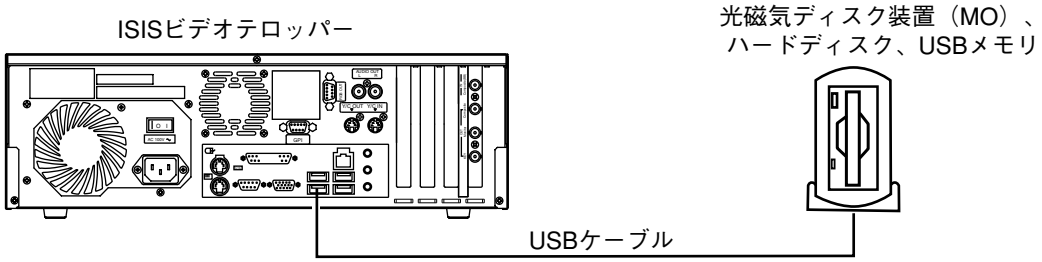
システムアップをする

周辺機器をつなぐ

ここではコンピュータに接続できる外部記憶装置やカラーイメージスキャナー、リモコン、プリンター、GPI接続について簡単に説明します。（接続はお買い上げの販売店かビクターサービス窓口にご依頼ください。）

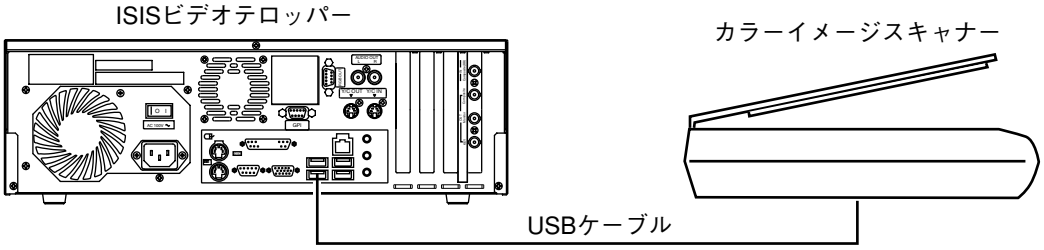
外部記憶装置をつなぐ

光磁気ディスク(MO)、ハードディスク、USBメモリなどの外部記憶装置にデータ（本機で作成したテロップやイラスト）を保存できます。
本機コンピュータ部のUSBインターフェースで接続します。



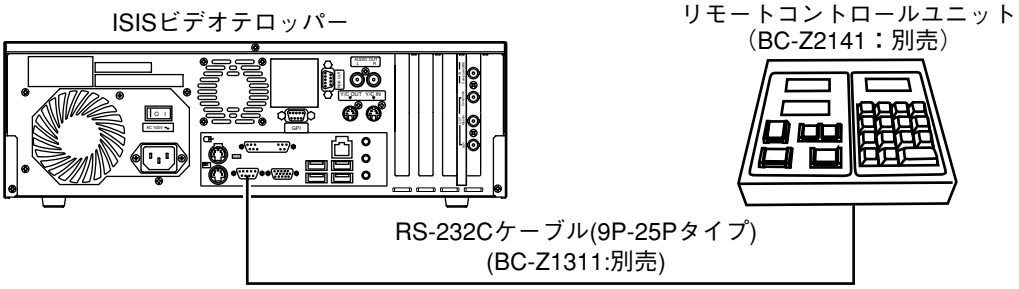
カラーイメージスキャナーをつなぐ

写真やイラストをデータとして本機に取り込みピクチャーやロゴとして利用します。
本機コンピュータ部のUSBインターフェースで接続します。



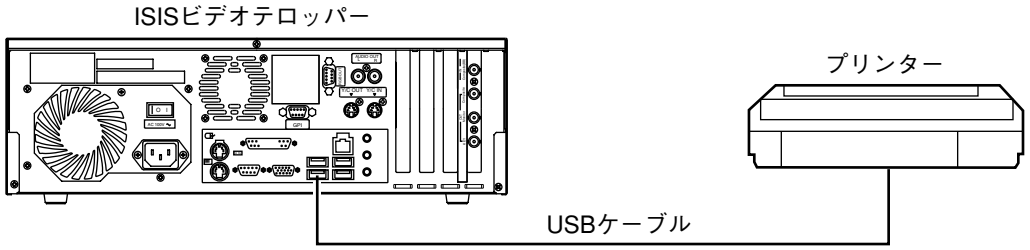
リモートコントロールユニットをつなぐ

リモートコントロールユニットで本機のテロップ送出を遠隔からコントロールすることができます。本機コンピュータ部のシリアルポートコネクターに接続します。
詳しくはリモートコントロールユニットの取扱説明書をお読みください。



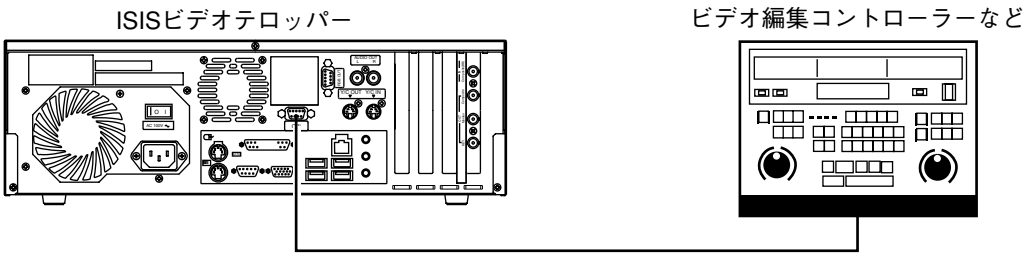
周辺機器をつなぐ（つづき）

プリンターをつなぐ



GPI接続

GPI出力を持つ外部機器（ビデオ編集コントローラーなど）と接続し、外部機器から動作をコントロールすることができます。
詳しくはソフトウェアマニュアルの「ワンポイントアドバイス」の「GPIについて」をお読みください。



ご注意

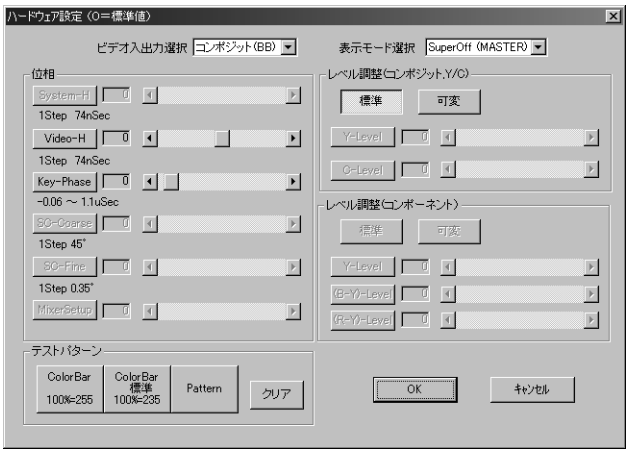
●機器設置時はあらかじめ身体の静電気を除去してください。
外部機器との接続の際は、外部機器にワイヤーを取り付けた後で本機の9ピンGPI端子に接続してください。
●接続する周辺機器は、Windows XP Professional対応のものをご使用ください。

特殊効果装置をつなぐ

特殊効果装置とつないだときは、調整が必要になります。調整は特殊な測定器を必要としますので、ビクターサービス窓口にご依頼ください。

調整用メニュー[ハードウェア設定]の使いかた

準備： 1 メインダイアログの<設定>をクリックする。
2 <ハードウェア設定>をクリックしてハードウェア設定メニューを表示させる。



メモ ソフトウェアマニュアルの「ダイアログの説明」を参照してください。

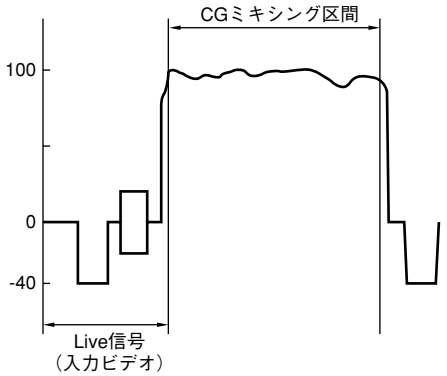
1 [表示モード]選択の方法

Super Off(MASTER)、Super Off(SLAVE)、Super On、Live(スルー)、Live(キャプチャー)のいずれかを選択します。

メモ ■動作状況と出力同期信号について

○Mixモード時
<SuperOn>

入力した映像信号に本機で作成したCG信号(文字、絵等)がミキシングされ出力されます。



入力がComposite信号で
Composite信号出力の場合

○CGマスターモード
<SuperOff(MASTER)>

本機のCG信号が出力されます。
同期タイミングも本機内で作られた信号となります。
同期タイミングは入力ビデオ信号に同期しません。

○CGスレーブモード
<SuperOff(SLAVE)>

本機のCG信号が出力されます。
同期タイミングは入力ビデオ信号に同期します。

2 [位相]、[レベル調整]の操作方法

各調整項目の横にある左右の矢印をクリックし、数値を変えて調整します。
左向きの矢印をクリックすると数値が１つずつ小さくなります。
右向きの矢印をクリックすると数値が１つずつ大きくなります。

真中のツマミを左クリックで押しながらスライドさせても、数値を変更できます。

特殊効果装置をつなぐ（つづき）

3　テストパターンを表示させる方法

<Color Bar100%=255>、<Color Bar 標準100%=235>をクリックするとカラーバーが表示され、<Pattern>をクリックするとキー位相調整用のパターンが表示されます。

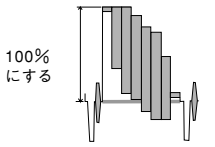
メモ **テストパターン**

ColorBar 100%=255	調整用のカラーバー（輝度100%）を画面に表示します。 輝度100%はR,G,B=（255,255,255）の値です。 輝度0%はR,G,B=（0,0,0）の値です。 この値で書かれている文字や画像を100%の白レベルとして出力する場合は、このカラーバーを表示してレベル調整を行ってください。
ColorBar 標準 100%=235	調整用のカラーバー（輝度75%）を画面に表示します。 輝度100%はR,G,B=（235,235,235）の値です。 輝度0%はR,G,B=（16,16,16）の値です。
Pattern	調整用の枠を画面に表示します。 センター合わせに使用できます。

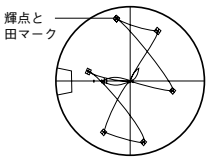
4　輝度レベル、色レベルの調整

この調整は本機の映像出力信号の明るさと色のレベルを調整します。
ここではコンポジットビデオを例に説明します。

1　本機のComposite出力を波形モニターとベクトルスコープに接続する。
2　ハードウェア設定ダイアログでカラーバーを発生させる。
3　波形モニターを見ながらカラーバーの白が100%になるように[Y-LEVEL]を調整する。
4　ベクトルスコープを見ながら各色の輝点が田の中に収まるように[C-LEVEL]を調整する。(田に収まらない場合は全部の輝点がもっとも田に近づくように調整する。)



波形モニターの画面



ベクトルスコープの画面

メモ SDI出力の輝度レベル・色レベルは調整できません。

5　水平位相、サブキャリア位相の調整

この調整は特殊効果装置等と接続し、本機に同期結合をする場合に調整を行います。
組み合わせる機器によって具体的な調整方法は異なりますので、組み合わせて使用する機器の調整方法をお読みください。

[調整の概要]　基本的には本機の出力をそのまま出力させた波形と、効果をかけて出力させた波形を比較して調整します。
水平位相：波形モニターで水平同期信号の位置が合うように調整する。
サブキャリア位相：ベクトルスコープでカラーバーの位相が合うように調整する。
BC-8900DのSDI入力時の調整値は無効になります。

6　キー位相調整

この調整はキー信号出力を使って特殊効果装置でキーイングする（テロップをおこなう）場合に必要です。使用する特殊効果装置や使用する信号によって異なります。

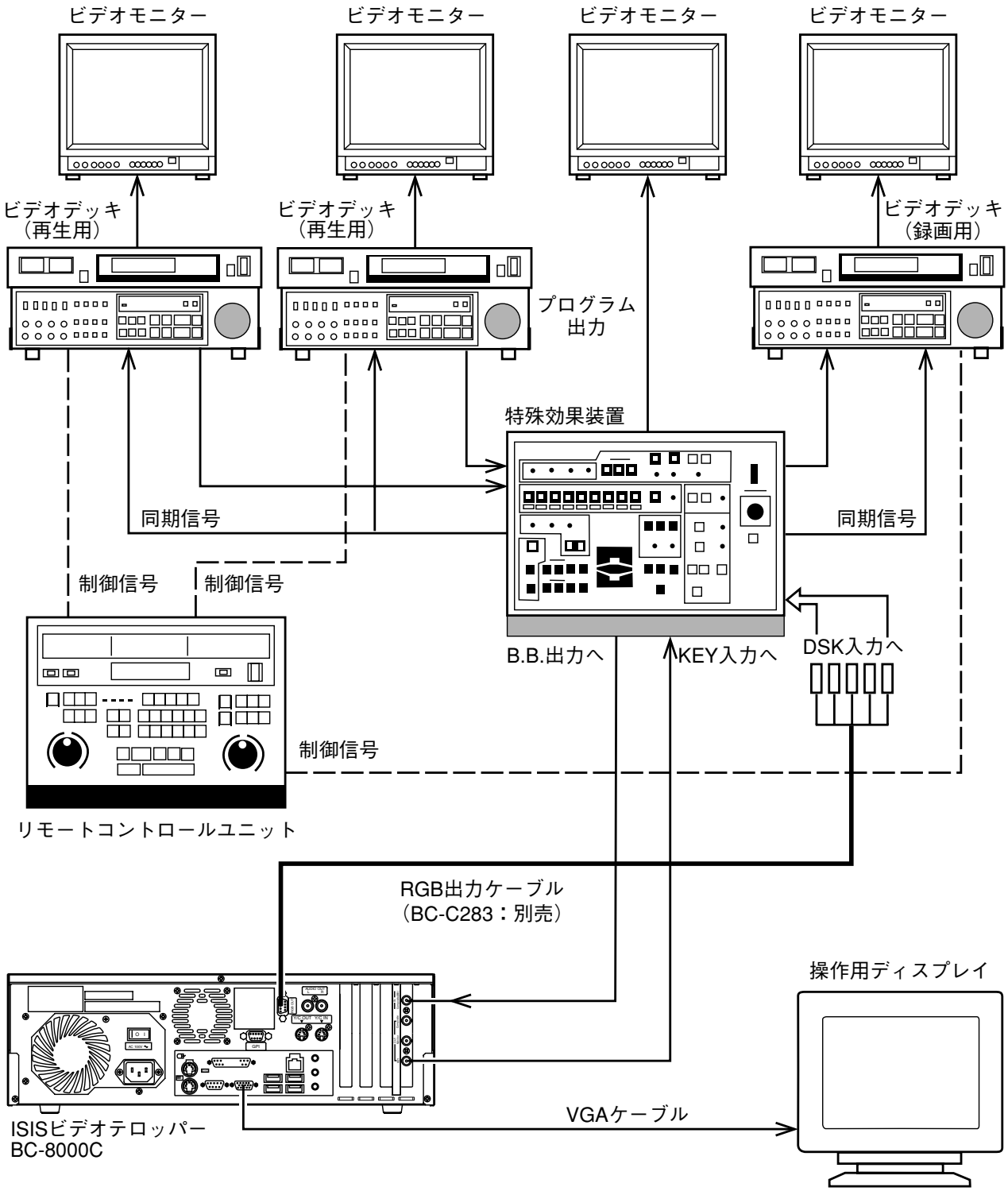
7　キー信号切替（BC-8900Dのみ）

ISISボード上のスライドスイッチでKEY信号をSDI出力かアナログ出力を切替えられます。
出荷時はSDI側にセットされています。
必ずパソコンの電源を切った状態で作業してください。設定はビクターサービスにご依頼ください。

特殊効果装置システム接続例

応用的な接続例をご紹介します。各機器の接続は、電源を切ってから行なってください。

BC-8000Cの場合



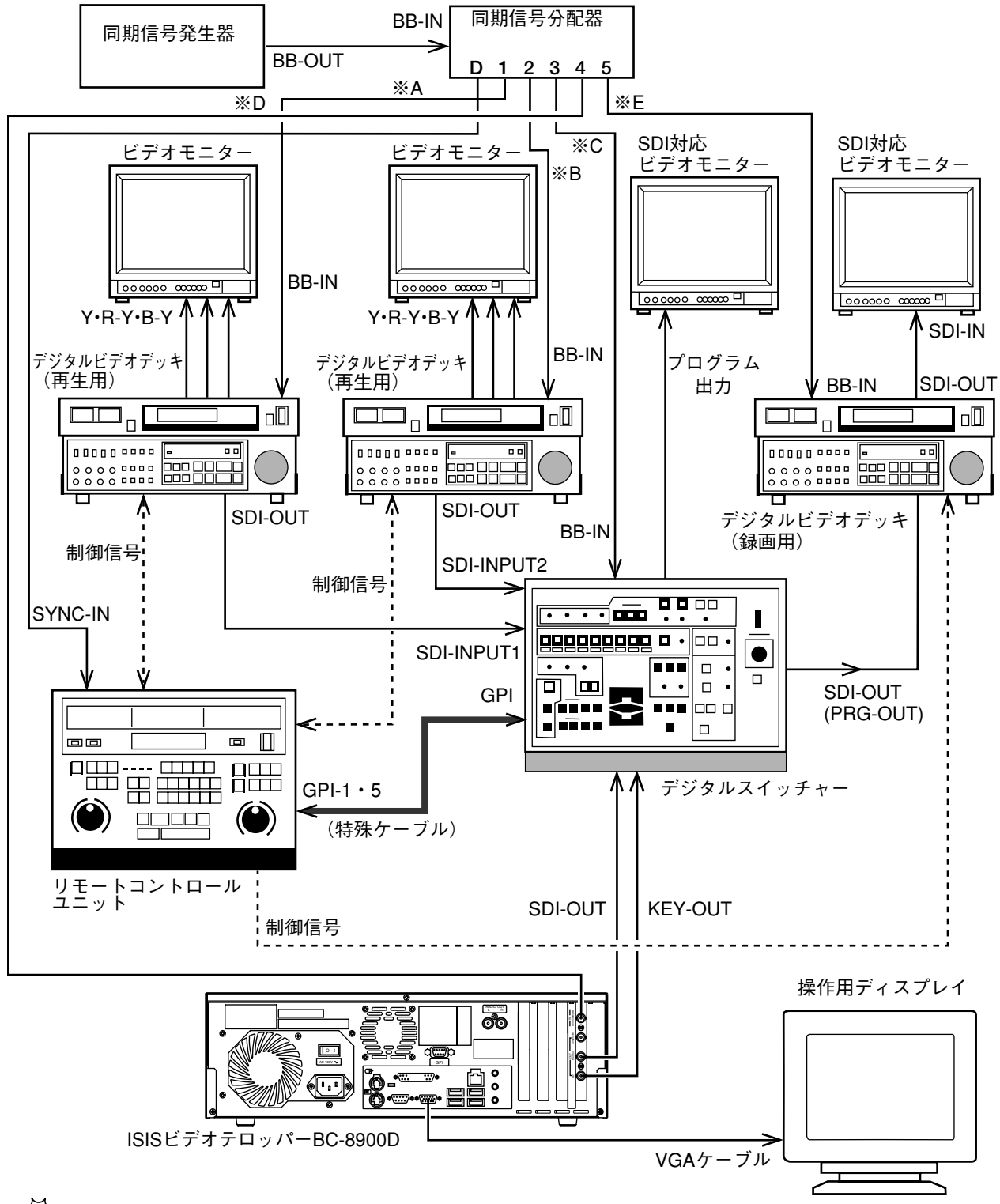
ご注意

- 音声系は省略しております。別に音声系の接続が必要です。
- マウス、キーボード、電源ケーブルは省略しております。

特殊効果装置システム接続例（つづき）

応用的な接続例をご紹介します。各機器の接続は、電源を切ってから行なってください。

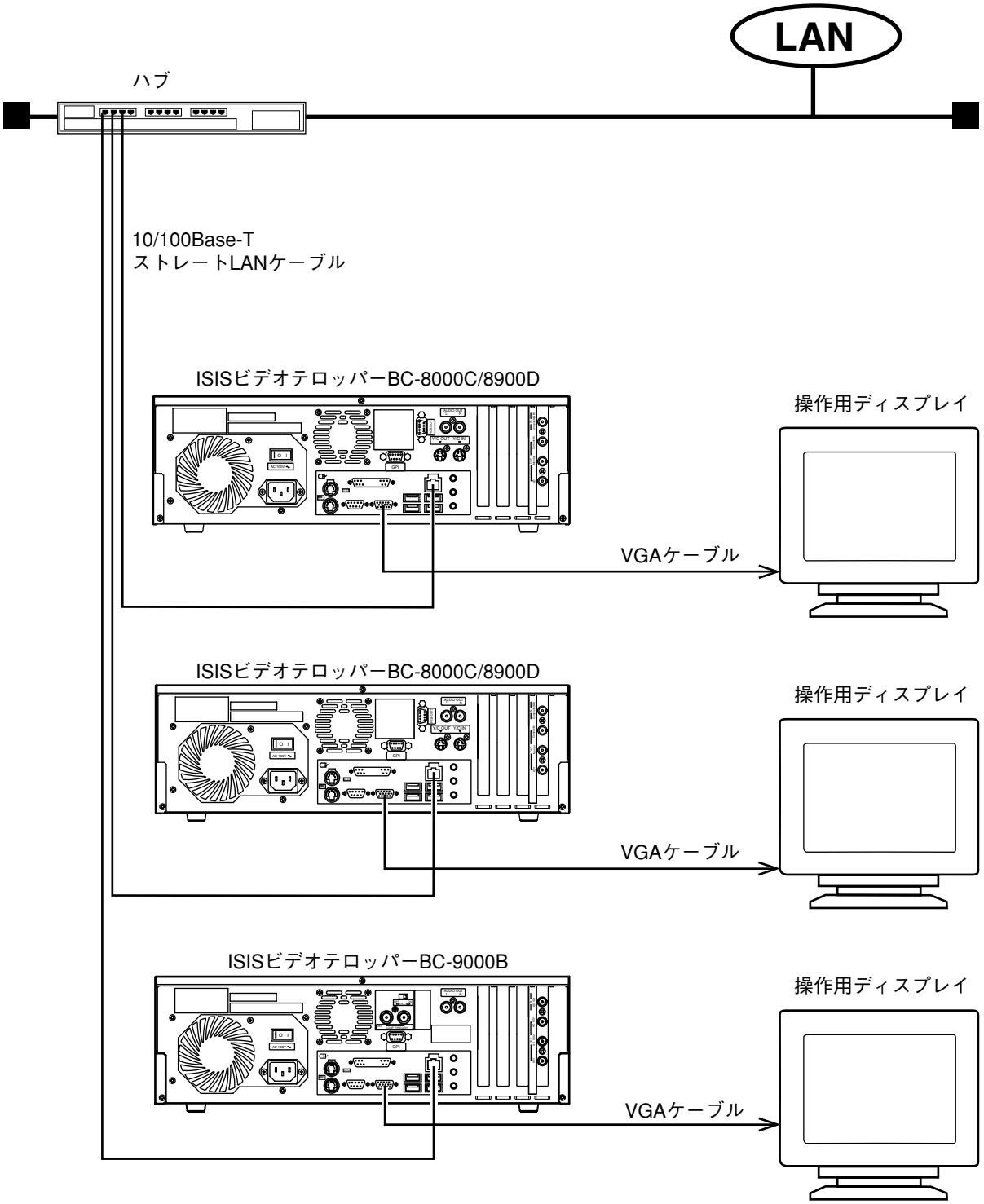
BC-8900Dの場合



ご注意
- ●音声系は省略しております。別に音声系の接続が必要です。
- ●※A、※B、※C、※D、※E、のケーブル長は、同一の長さにしてください。

複数台のISISをネットワークにつなぐ

複数台のISISをネットワークでつなぐことにより、他のISIS(ハイビジョンビデオテロッパー BC-9000B等を含む)で作成したテロップデータを共有することができます。



ご注意

●ネットワークにつないだときのISISビデオテロッパーの設定（IPアドレスやゲートウェイなど）は、ネットワーク管理者へご相談ください。

困ったときは

故障かな？と思ったら

症　状		処　置
初めて設置した時	電源が入らない。	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ・電源コードが本機背面から抜けていませんか。 ・1次電源スイッチ（背面）がOFFになっていませんか。
	画面になにも写らない。	・ビデオテロッパー本機、ディスプレイの電源は入っていますか。 ・接続ケーブル類は正しく接続されていますか。 ・仕様に合致したディスプレイ、接続ケーブルを使用していますか。 ・操作用ディスプレイの入力切り替えのポジションは正しいですか。
初めて設置した時の操作上の不具合	キーボード操作ができない。	・キーボードのケーブルは正しく接続されていますか。 ・キーボードとマウスのプラグが逆に接続されていませんか。 ・コンピューターの再起動が必要な場合があります。
	マウス操作ができない。	・マウスのケーブルは正しく接続されていますか。 ・キーボードとマウスのプラグが逆に接続されていませんか。 ・添付以外のマウスを使用していませんか。 ・光学式マウス対応のマウスパッドをご使用ください。
	マウス操作しているとカーソル位置が画面の端に突然飛んでしまう。	・添付のマウスは光学式です。 ・光学式マウス対応のマウスパッドをご使用ください。
	スーパーインポーズ画面が乱れる。	・入力接続機器の信号品質は映像信号規格に合致したレベルですか。
通常操作時の不具合	ISISビデオテロッパー本体の電源が切れない。	・オペレートボタン（前面）を押して、シャットダウンさせる。 ・ハードディスクがアクセスしていない時にオペレートボタン（前面）を5秒間続けて押すか、1次電源スイッチ（背面）をOFFにする。
	突然マウスやキーボード操作ができなくなった	・キーボードのキーで ALT+F4 を同時に押してアプリケーションや Windows を終了させる。（この時画面の指示によっては矢印キーやリターンキーを押す必要がある場合があります。） ・オペレートボタン（前面）を押して、シャットダウンさせる。 ・ハードディスクがアクセスしていない時にオペレートボタン（前面）を5秒間続けて押すか1次電源スイッチ（背面）をOFFにする。
	ISISテロップソフトの操作が効かなくなった	・Windows をいったん終了し、本機背面の1次電源スイッチをOFFにしてから立ち上げ直してください。

症　状		処　置
通常操作時の不具合（つづき）	ISISテロップソフトの操作はできるが、出力画面が乱れたり切り換わらない。	・Windows をいったん終了し、本機背面の1次電源スイッチをOFFにしてから立ち上げ直してください。 ・SuperOff(SLAVE),SuperOnモードの場合は、入力信号が正常か確認してください。 ・SuperOff(SLAVE),SuperOnモードの場合は、接続が正常か確認してください。
	「ハードウェアを認識できません。」の警告がでた時。	・Windows をいったん終了し、本機背面の1次電源スイッチをOFFにしてから立ち上げ直してください。 （ISISボードの取り外しにて正常認識できる場合があります。）
	異常な振動音がでる。	・ファンの寿命が考えられます。ビクターサービス窓口にご相談ください。
	本機パソコン部よりビープ音がでる。	・動作環境を10℃～35℃にしてください。
	Composite出力が緑色になる。	・一時的な入力信号の途切れにより、症状が発生することがあります。再度入力信号を切／入するか、本機の電源を入れ直してください。
その他	キーボードの「Caps Lock」、「Scroll Lock」ランプや光学式マウスのランプが消えない。	・本機の仕様です。背面の電源スイッチを切ってください。

システムを変更したとき

取扱説明書（本書）、ソフトウェアマニュアルとオンエアマネージャーマニュアルをもう一度熟読し、接続と操作手順を確認してください。

ご注意 日頃から、必要なソフトウェア以外は立ち上げない習慣を身に付けましょう。
複数のソフトを動作させていると、思わぬトラブルに巻き込まれる可能性が生じます。

ソフトウェアの再インストール

ISISテロップソフトは工場出荷時にインストール済みです。

※通常は再インストールの必要はありません。ハードディスク内のソフトウェアが何らかの原因で破損した場合のみ行なってください。

ISISテロップソフトを再インストールしても復帰しない場合は、Windows XP Professionalの再インストールを必要とすることもあります。この場合の手順は**Windows XP Professional ファースト　ステップ　ガイド** に記述されてあります。
再インストール作業中の操作の誤り等で回復不能となりビクターサービス窓口にて対応した場合、保証期間にかかわらず有償修理となりますのでご注意願います。

ご注意

コンピュータの設定作業に不慣れなお客さまは販売店かビクターサービス窓口にご相談ください。

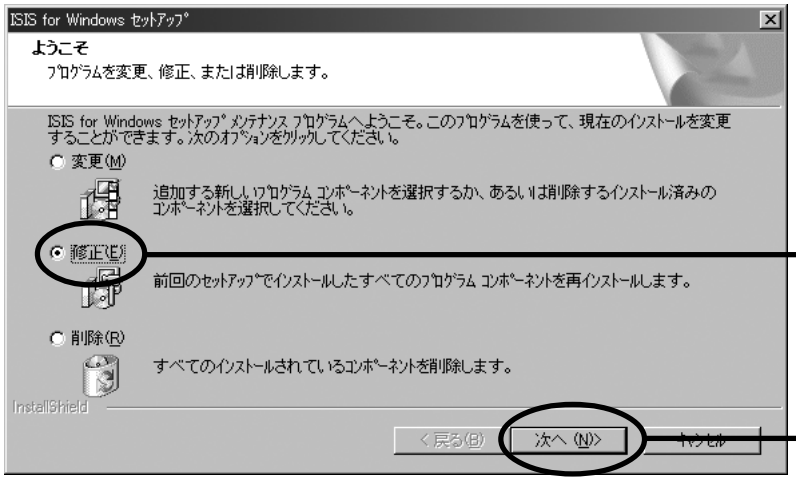
■ISISテロップソフトのインストール手順

1. ISISテロップソフトCDをDVD-ROMドライブに挿入しす。
2. Windows XP Professionalのスタートメニューの「ファイル名を指定して実行」を選択します。
   「参照」ボタンをクリックしてDVD-ROMドライブのSetup.exeを開きます。
   「OK」ボタンをクリックします。
3. セットアップウィザードが起動します。画面の指示にしたがってインストールを行ないます。

メモ

アンインストールせずにソフトを再インストールした場合にこの画面が表示されます。

※以下の画面が表示された場合には、「修正」を選択してください。



① チェックをつける

② [クリック]

4. セットアップが終了したら、Windows XP Professionalをシャットダウンして、本機の1次電源スイッチをOFFにしてください。

メモ

本機の電源を切らないとISISテロップソフトが正常に実行されません。

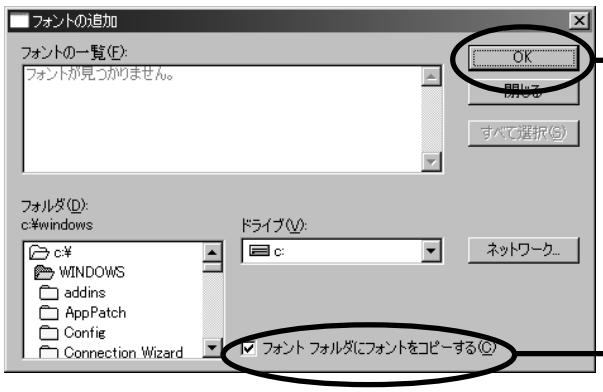
5. 5秒以上待ってから、電源を入れてください。

■フォントのインストール

1. フォントCDをDVD-ROMドライブに挿入します。
2. Windows XP Professionalのスタートメニューから「コントロールパネル」を開きます。
3. 『作業する分野を選びます』の画面から「デスクトップの表示とテーマ」をクリックします。

[クリック]

4. 関連項目（「デスクトップの表示とテーマ」画面の左上）の中から「フォント」を選択します。
5. メニューから「ファイル」－「新しいフォントのインストール...」を選択します。
6. 「フォントの追加」ダイアログボックスの「ドライブ」でDVD-ROMドライブを選択します。
7. 「フォントの追加」ダイアログボックスの「フォルダ」で「Fonts 15」をダブルクリックします。
   （BC-8000Cの場合は「Fonts 5」をダブルクリックします）
8. 「フォントの追加」ダイアログボックスの「フォントの一覧」にフォントが表示されます。
   「すべて選択」をクリックします。
9. 「フォントの追加」ダイアログボックスの「フォントフォルダにフォントをコピーする」がチェックされていることを確認して、「OK」をクリックします。



[クリック]

チェックされているかを確認

その他

保証とアフターサービスについて

●保証期間について

保証期間はお買い上げの日より 1 年間です。（ただし、消耗品は保証対象外です。）保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有償修理いたします。

●保証するソフトウェア

商品にインストール済の「ISISテロップソフト」です。

●本機はISISビデオテロッパーとしてコンピュータを専門的にカスタマイズした商品です。

ISISテロップソフトおよび関連機器を操作するソフト以外のものをインストールした場合の動作保証はしておりません。関連機器に付属のユーティリティソフトなどについても同様に保証しておりません。

空きスロットに挿入使用の付加装置についても同様に保証しておりません。これらのソフトウェアやハードウェアをインストールしたために直接的、あるいは間接的に生じたISISビデオテロッパーの動作不具合についてのサービス対応は、保証期間にかかわらず有償となりますのでご注意ください。

●修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」の各項目をお読みのうえ、再度お調べください。それでも具合の悪い時は、お買い上げの販売店に次のことをお知らせください。

- メーカー名、品名、型名
- お名前、ご住所、電話番号
- 故障症状を詳しく（特にソフトウェアの場合は、どの様な操作をして不具合が生じたか）

また、安全のため、電源プラグはコンセントから抜いておいてください。

●アフターサービスについてご不明な点は

ご転居、ご贈答、その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売店、または別紙ビクターサービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のビクターサービス窓口にご相談ください。

●商品の廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

仕様

■仕様（BC-8000C）

型　名	BC-8000C
ビデオ入力	Composite信号 : BNC 1系統、 Y/C信号 : Mini Din 4ピン 1系統 (サブキャリア周波数範囲　3.579545 MHz ±100 Hz)
ビデオ出力	Composite信号 : BNC 1系統、 Monitor : BNC 1系統、 KEY信号 : BNC 1系統(リニアキー)、 Y/C信号 : Mini Din 4ピン 1系統 RGBHV(CG-出力のみ)×D-Sub 15ピン 1系統
信号レベル Composite入力 Composite出力 Monitor出力 KEY出力 Y/C入力 Y/C出力 RGB出力 KEY出力	 1 V(p-p)/75 Ω 1 V(p-p)/75 Ω 1 V(p-p)/75 Ω 1 V(p-p)/75 Ω 輝度信号 (Y) 1.0 V(p-p)/75 Ω 色信号　(C) 0.286 V(p-p)/75 Ω(バーストレベル) 輝度信号 (Y) 1.0 V(p-p)/75 Ω 色信号　(C) 0.286 V(p-p)/75 Ω(バーストレベル) R、G、B(G on sync可能) 各0.7 V(p-p)/75 Ω ＊G on syncは基板内スライドスイッチにより切換え（出荷時状態はGのみ） HSYNC、VSYNC 各TTLレベル/75 Ω切換え ＊TTLレベル/75 Ωは基板内スライドスイッチにより切換え（出荷時状態はTTLレベル） 1 V(p-p)/75 Ω(同期負)
制作解像度 表示解像度 16 : 9表示 レイアウト画面 表示色 画像調整 スーパーインポーズ 画像取込 GPI端子	640×480、720×486(ピクセル)切換え 720×486(ピクセル)*1 制作解像度640×480(ピクセル)の場合はハード ウェアによる解像度変換(704×480(ピクセル)) 解像度720×486(ピクセル)によるスクイーズモード 実アスペクト表示(4 : 3または16 : 9) または実ピクセル表示切換え 1670万色 可能 可能 可能 標準装備
ソフトウェア仕様 OS フォント 使用可能Picture File	WindowsXP Professional (Auto Administrator Login) 日本語5書体 BMP、TGA、JPEG、(GIF、TIFFはオプション)
その他 電源電圧 消費電力 動作温度 保存温度 動作湿度 本体寸法(幅)×(高さ)×(奥行き) 本体質量	 AC 100 V 50 Hz / 60 Hz AC 100 V/4 A(出荷時状態100 W、アイドル時 80 W、電源スタンバイ時 10 W) +10 ℃ ～ +35 ℃ −20 ℃ ～ +60 ℃ 30 % ～ 80 % RH(非結露) 430 mm × 138 mm × 403 mm　(ただし、突起物含まず) 10.5 kg

*1 Composite出力では、左右6ピクセルの幅については、CG出力は段階的に暗くなります。

仕様（つづき）

■仕様（BC-8900D）

型　名	BC-8900D
SDI入力 /Compositeビデオ入力	SMPTE 259M-CまたはComposite信号 1 V(p-p)/75 Ω BNC 1系統 ＊SDI入力とComposite入力は自動切替え
SDI画像出力	SMPTE 259M-C準拠　　YCbCr 各10 bit BNC 1系統 延長ケーブル長 5C2Vで100 m以下
SDIキー出力 /アナログキー出力 （リニアキー）	SMPTE 259M-C準拠　　Yにはキー信号10 bitを出力 CbCrには黒レベルを出力 延長ケーブル長 5C2Vで100 m以下 1 V(p-p)/75 Ω BNC 1系統 ＊SDIキーとアナログキーは基板内スライドスイッチにて切り替え
Compositeビデオ出力	SMPTE 170M準拠 1 V(p-p)/75 Ω ソフトメニューによりレベル・位相可変可能 BNC 1系統
制作解像度 表示解像度 16：9表示 レイアウト画面 表示色 スーパーインポーズ 画像取込 GPI端子	640×480、720×486(ピクセル)切替え 720×486(ピクセル)*1 制作解像度640×480(ピクセル)の場合はハードウェアによる解像度変換(704×480(ピクセル)) 制作、表示解像度720×486(ピクセル)によるスクイーズモード 実アスペクト表示(4：3または16：9)または実ピクセル表示切替え 1670万色 可能 可能(SDI入力のみ) 標準装備
ソフトウェア仕様 OS フォント 使用可能Picture File	 WindowsXP Professional (Auto Administrator Login) 日本語15書体 BMP、TGA、JPEG、(GIF、TIFFはオプション)
その他 電源電圧 消費電力 動作温度 保存温度 動作湿度 本体寸法(幅)×(高さ)×(奥行き) 本体質量	 AC 100 V 50 Hz / 60 Hz AC 100 V/4 A(出荷時状態 100 W、アイドル時 80 W、電源スタンバイ時 10 W) ＋10 ℃ ～ ＋35 ℃ −20 ℃ ～ ＋60 ℃ 30 % ～ 80 % RH（非結露） 430 mm × 138 mm × 403 mm （ただし、突起物含まず） 10.5 kg

*1 Composite出力では、左右6ピクセルの幅については、CG出力は段階的に暗くなります。

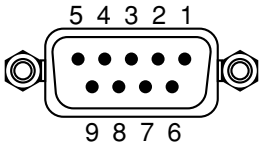
■コンピュータ部仕様（発売時の仕様のため生産時期によっては一部異なる場合があります）

ISISビデオテロッパーのベースとなるコンピュータ部には以下の特長があります。

- ハードウェアはISISビデオテロッパー用としてカスタマイズ
- 日本製電源ユニット搭載
- Intel Celeron 2.0 GHzプロセッサ（もしくは同等以上）搭載
- Intel Q35チップセットを使用（VGA機能内蔵）
- メモリ1 GB　PC2-5300　DDR2　DIMM搭載（MAX　8 GB）
- Serial ATAハードディスクドライブを内蔵（160 GB以上）
- ISIS用PCI拡張スロット以外に空きPCI拡張スロット×1
- PCI Express X16 スロット×1、PCI Express X4(動作はX1）×1
- オンボードオーディオ搭載
- 8 倍速　DVD-ROMドライブ搭載
- 10/100/1000 Base-T　オンボードNIC搭載
- USBポート×5（前面×1、背面×4）

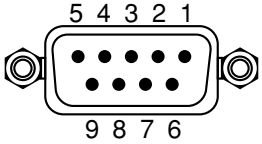
■アナログRGB出力端子

(BC-8000Cのみ)



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	R信号出力	6	グランド（R）
2	G信号出力	7	グランド（G）
3	B信号出力	8	グランド（B）
4	垂直同期信号出力（同期負）	9	グランド
5	水平同期信号出力（同期負）		

■GPI端子

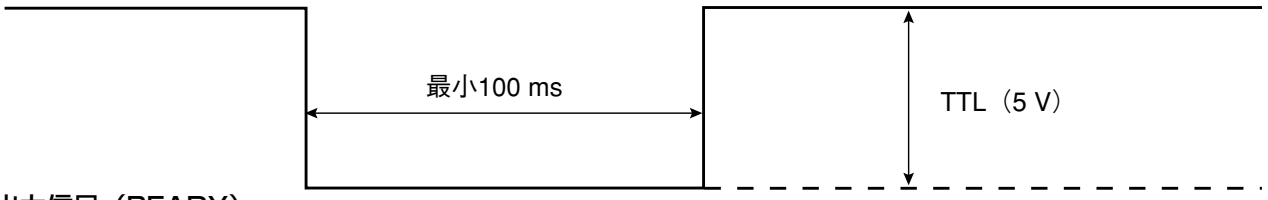


ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	GOTO TOP（ストーリーの最初のシーンに戻る）	6	（未使用）
2	NEXT（シーンを実行する）	7	READY（受付可能状態を示す）
3	BACK（シーンを1つ前に戻す）	8	グランド
4	CLEAR（オンエア画面をクリアする）	9	グランド
5	SKIP（シーンを1つとばす）		

入力信号（GOTO TOP,NEXT,BACK,CLEAR,SKIP）

・信号レベル　　5V-TTLレベル（Lowアクティブ）

・信号パルス幅　　最小100 ms



出力信号（READY）

・信号レベル　　5V-TTLレベル（Hightアクティブ）

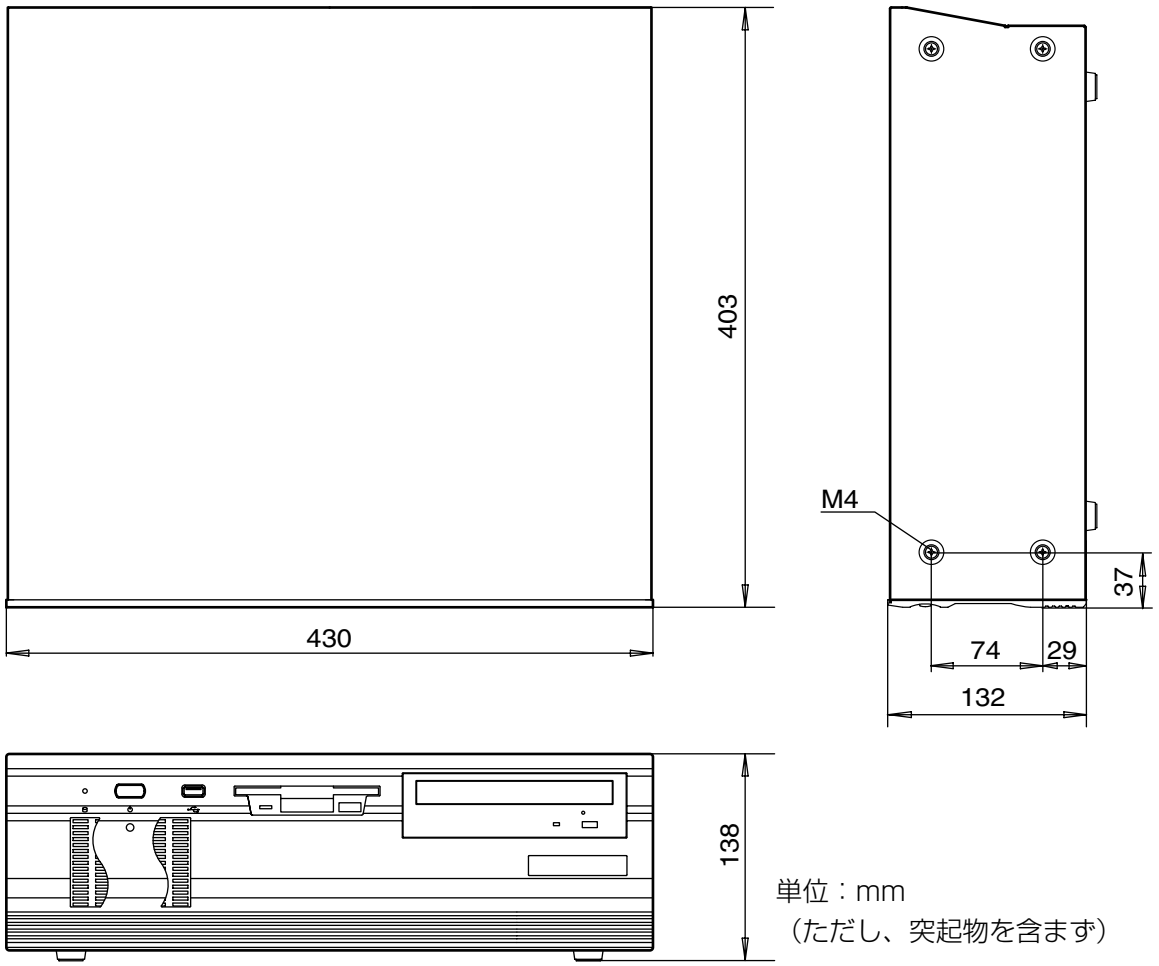
・信号パルス幅　　最小16.7 ms

READY（入力受付可能）状態のときHigh

実行中はLow

仕様（つづき）

■寸法図



単位：mm
（ただし、突起物を含まず）

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

BC-8000C ISISビデオテロッパー
BC-8900D

取扱説明書

お客様ご相談センター

0120–2828–17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950【代表】

FAX (045)450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町 3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (042) 660-7292

© 2008 Victor Company of Japan, Limited

LST0406-001D